

五年生 平和のメッセージ

①	わたしたちは、「きょうちくとうの子守歌」の詩を書いた石井みちこさんのお話を聞きました。
②	「こんなことがあったのか」「こんなにこわかったんだ」ということが詩の中にたくさんありました。
全	「赤い火」
③	ほんの一瞬の「赤い火」のために、たくさんの人が死んでしまったのです。
全	「白い砂にまみれて今も七つのまま」
⑤	石井さんの同級生はたった7才で白い骨のこなになって、短い人生を終えてしまったのです。
⑥	悲さんな戦争だからこそ、おそろしい言葉ではなく、きれいな詩にしたかったのだそうです。
⑦	わたしたちは詩の中にたくさんの願いがこめられていることを知りました。
⑧	そして、この歌を力強く歌えば歌うほど、歌のけしきが見えてきました。
1組	これ以上あんなひどい戦争は起こってほしくない
2組	原爆で死んでしまった人たちのためにもがんばって生きたい
全	歌を通して平和の大切さをうったえたい
全	核兵器のない、平和な世界をつくりたい
⑨	世界中にこの思いが伝わるように、みんなの心を一つにして歌います
全	歌います